

病害虫発生予察情報
7月月報

令和8年8月13日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2026 年 7 月	気 温 (℃)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	28.0	-1.0	20.5	-0.6	23.9	-0.7	78.5	126.2	34.1	87.4
中旬	33.7	3.4	24.9	2.7	28.5	2.7	7.0	13.7	62.5	133.3
下旬	35.8	4.4	25.4	2.3	29.6	3.0	22.0	43.1	73.1	120.2
平均	32.5	2.3	23.6	1.5	27.3	1.7				
合計							107.5	65.5	169.7	114.6

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：期間の中頃までは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が続いたが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。
東京の旬平均気温、旬間日照時間、旬降水量はいずれも平年並となった。

中旬：この期間の天気は、高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日があり、雷を伴う日もあった。
なお、関東甲信地方では7月20日ごろ梅雨明けしたと見られる（速報値）。
東京の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は少なくなった。

下旬：この期間の天気は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や雷雨の日もあり、特に24日は大雨となった。
東京では24日に日最大10分間降水量24.5mmを観測し、統計開始以降7月として2位となった。大島では22日に日最低気温27.1℃、23日に日最高気温34.4℃を観測し、ともに統計開始以降7月として高い方からの1位となった。八丈島では30日に日最低気温27.5℃を観測し、統計開始以降7月として高い方からの1位となった。
東京の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間と旬降水量はともに多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

生育は概ね順調であった。

(2) 野菜類

果菜類：一部でトマトの日焼け果、ナスの艶なし果の発生がみられた。
葉菜類：キャベツ、ブロッコリーの発芽や初期生育は順調であった。コマツナの生育も順調であった。

根菜類：ニンジン是一部で発芽遅延がみられたが、発芽後の生育は概ね順調であった。

イモ類：サツマイモの生育は順調であった。サトイモは一部で葉焼けがみられたものの、概ね生育は順調であった。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水：やや少雨であったが、日照条件は比較的良好で、果実肥大は順調に進んでいる。

(4) 茶樹

前半は暑すぎず降雨もあったため、生育に問題はなかった。後半は雨が多く気温が上がったため、雑草が一気に伸びて処理が大変であった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	予察灯の誘殺数はやや少なかった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並みであった。
チャハマキ	< やや少 >	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。

チャノホソガ	< やや少 >	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並みであった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。

ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並みであった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並みであった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。